

巻頭言

理事長 山本 章

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りします。年は明けたものの、新型コロナウイルス感染症は世界中で3億人を超え、しかもオミクロン株という感染力の強い厄介なものが出現して、いつになったらマスクを外せるのやらというところです。

ただ、春先には収束するという専門家の見立てもあり、そんな予測に望みをつなぎながら日々暮らしていくしかありません。

さて、今年はメンタルサポートあおば、アトリエ木の実の皆さんと一緒に社会福祉法人化を実現させる年であり、目下三法人の代表者で構成する準備委員会が膨大な書類づくりに大忙しといったところです。

ところで社福化といっても利用者の皆さんにとっては、法人の名前が変わるだけで、利用できるサービスが変わるわけではありません。むしろ変わらず利用できることを目指した法人合同、と

捉えていただいてもいい位です。

世の中、2015年に国連総会が採択したSDGs(持続可能な開発目標)があらゆる分野で取り上げられて、各国、企業、組織がこれに呼応した動きを見せています。例えば、気候変動及びその他地球規模の変動要因にもかかわらず生き延びるために必要な行動を求められています。

しかし我々三法人は、このような世間の動きに呼応したわけではありません。かねてから各々の法人が抱える財務上、人事上の不安を少しでも解消して、これまでの事業の継続をしようとしています。

無論将来組織の体力がついてくれば、新規事業に手掛ける場面も想定できますが、まずは社福化という一山を超えることが先決と考えています。皆様のご理解・ご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人化準備委員会報告

準備委員会は、月二回程度集まって市の担当部局に提出する書類の整備に追われています。委員は、NPO法人アトリエ木の実の菅野・二日市・大久保、NPO法人メンタルサポートあおばの渡辺・赤原、NPO法人青葉の樹の鷹野・大貫・山本の8名です。新法人の名称は、三NPO法人の皆様方の投票結果に従って、「青葉の実」で申請しています。

本年5月末に開催予定の三法人の総会において、現在の事業を新法人に譲る旨の決議が頂ければ、正式に申請の運びとなります。

来年度中(できれば10月)に認可されれば、生活支援センター、地域活動支援センター及びグループホームの活動を支える本部事務局が立ち上がり、社会福祉法人としての体制が整うこととなります。

三NPO法人共通の目標は、精神保健福祉分野における現在の自立支援事業の継続であり、将来可能であれば、さらに事業を拡大することです。したがって現在いずれかの施設を利用している皆様にとっては、社福化の前後で法人名が変わるぐらいで、サービス内容にあまり変化はないものと思われれます。

社会福祉法人は、全国レベルで見ると3万ほどあって保育園やご老人の施設を運営するものが多い一方で、精神保健福祉分野のものは、それほど多くないようです。しかも歴史の浅い青葉区は、社会資源が少ないといわれていて、それだけに各方面から今回の社福化に大きな期待が寄せられています。

準備委員一同、緊張感をもって来年度中のスタートに向けて、日々準備を進めているところです。

《ネバーランド青葉から》

今年度もコロナ禍のため散策やカラオケ、日帰り旅行などの外活動を中止しました。少しでもメンバーさんに季節を感じ、楽しい気分を味わってほしいと、12月・1月にイベントプログラムを企画し、社協から戴いた「年末たすけあい募金」の一部をプログラムのために使わせていただきました。対象となったプログラムは、大掃除・トーンチャイム発表会(コーラス)・おたのしみ会・年始会です。どのプログラムも多くの方に参加して頂き、楽しんでいただけたと思います。



今後も、工賃作業だけでなく季節感のあるプログラムを取り入れ、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思います。

🍷 スタッフ紹介

はじめまして。昨年9月から非常勤職員として勤務しています岩間文子と申します。穏やかで優しさあふれるメンバーの皆さんやとても気配りがあるスタッフの方々に支えられて勤務しています。未熟ものではありますが、今後ともよろしくお願ひします。



《グループホーム 青葉マナ・コーポ YOU から》

青葉マナでは念願のサテライト住居を2022年1月1日より開所することができました。本部から徒歩10分ほどの位置にありますが、急な坂の上にありますので、緊急時の対策として電動自転車を青葉区社会福祉協議会の年末助け合い募金12万円を利用させていただき購入しました。合わせて非常食100食も購入しました。



コーポ YOU については順次非常食と非常用の水の購入を行う予定です。

コロナの収束も見えない状況ですが、両ホームとも入居者、スタッフともに気を付けて毎日を過ごしています。

🍷 スタッフ紹介

2021年5月よりコーポ YOU と青葉マナに勤務しております、井上あさこと申します。緑区で生まれ育ち、青葉区で20年以上暮らしてきました。愛着ある地域でメンバーさんたちと関われることに、大きな喜びを感じています。

青葉マナにある鍋・フライパン群の迫力に圧倒されて、休んでいた筋トレを再開しました。心身両面から一杯支援させていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

《はじまりの家 から》

◆ 花壇で野菜を作ってみました。

きゅうり、なす、ピーマン、トマトを作りました。なすとピーマンは豊作で11月頃まで次々と花をつけ、蜂が何度も巣を作りました。花より団子？ 来年も挑戦します。

◆ 入居者の近況報告

Mさん：ネバーランドに週3日のペースで通っています。ポスティングや銀杏並木清掃に参加し、無我夢中で体を動かしています。ホームでは悩みながら生きています。

Iさん：作業も雑談も楽しく自分の身になっていることを感じながら通所できています。ネバーランドに通所できたことに心から感謝する日々です。



◆ 寄付金ありがとうございました。

緑区社会福祉協議会様から頂いた年末たすけあい募金10万円をホーム更新料の一部として使わせていただきました。

また、公益財団法人愛恵福祉財団様から20万円の助成金を頂き冷蔵庫を2台購入しました。



久しぶりに中井さんから詩が届きました。

お風呂場風景

中井順子

介護さんに声をかけられ

「ゆ」のカーテンを開けお風呂場に入る
中はお風呂を待っている人 人

車椅子を下り

下着をぬぎ

洗い場に行く人

洗い場に入ると

椅子に腰かけ

洗ってもらっている人 人 人

なかなか気持ちよさそうだ

ほとばしるシャワーの湯をかけて戴いた
と思うと

頭から湯を浴びて

洗髪 背中 お尻 足
「前は自分で洗います」

足湯をもらっている人

湯舟につかる人

洗い終わって

着替えをしてもらう人

世話をして下さる人の

活力ある

動きのすばやさ

「午前中 何人すませばいい」

「頑張れ」

呼応する中

タオルを戴いて

車椅子で

本当に満足顔で

風呂場を後にする



ネバーランド青葉では、ここ数か月にわたり「これからの自分を考える」というプログラムで自由な話し合いを行っています。1月は作並さんが作ったレジュメ『親亡き後を生きる』を読んだ後、自由に話し合いをしました。ここに作並さんの作ったレジュメの一部を紹介します。

親亡き後を生きる (一人暮らしを生きる)

作並美幸

☆ 衣食住をどうするか

☆ 経済をどうするか

☆ 友人、親戚

☆ 相談先、相談相手を持つ

- ・訪問看護（家に精神科の看護師さんが来てくれ、1回1時間ほど話し相手、相談相手になってくれて、体温、脈拍、血圧などを測り、バイタルチェックをしてくれる）
- ・ヘルパーさん（家事の困っていることなど一緒にしてくれ、手助けをしてくれる）
ヘルパーさんを導入する為に生活支援センター（各区にあり）の相談員が生活の計画と一緒にたててくれ、モニタリングなどを行う。
- ・区のワーカーさん

☆ SOSを出すこと

一人暮らしは、困っていても本人が困難を自覚して助けを求めないと、誰かからという援助は得られない。

また、すべてを一人で済ませることが自立するということではない。

- ・いろいろな事柄について複数の相談先を決めておくことも大事。

☆ 日常の居場所、就労用事だけでなく、知っている人に会えるという場所（ネバーランド他）や就労先を持つ。

☆ 楽しむ

最低限の費用で日常と違う楽しみを持つ
たまには少しのぜいたくを楽しむ

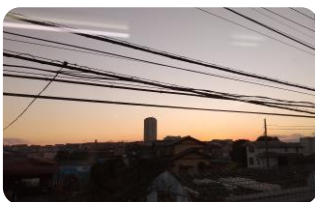


私の場合、友人とランチ、お茶、買い物などをする。

☆ 将来の夢を持つことと何でもない日常を楽しむこと

.....

（今から少しずつ考えておいたほうがよいことが、たくさん挙げられていましたが、紙面の都合上割愛させていただきました。）



ネバーランドから長津田方面を望む：ある日の夕焼けと1月6日の夕方。午後から降り始めた雪が見る見るうちに積もり始めました。

あとがき

オミクロン株によるコロナが蔓延している真ただ中です。心までコロナに侵されないように、どうぞ皆様、お気をつけてお過ごし下さいますように。必ず収束する日が来ますから。やま